



H23. 4. 1. No1285
 静岡県漁業協同組合連合会
 ☎054-254-6011 Fax054-253-9343
 編集・発行＝指導部漁業振興課
 URL:http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/

東北地方太平洋地震により、被害を受けられました皆様に心からお見舞い申し上げます。1日も早く復旧されますように、お祈りしております。

1. 東北地方太平洋沖地震により、沿岸部に甚大な被害集中する

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震（津波）被害につきましては、広範囲にわたり未曾有の被害が発生し、漁業関係では漁船はもとより漁港関連施設が壊滅したほか、全漁連の石油施設・関連加工所等も被害を受けるなど、大惨事となりました。

これに対し JF 全漁連では、3月13日「JF グループ東北地方 太平洋沖地震漁業・漁村災害・復興対策本部」を設置し、政府及び関係団体と連携し対策を進めています。まず、JF 全漁連会員の費用拠出による「救援物資による支援」は、3月15日～24日まで合計大型トラック4便を仕立て、全漁連の一括購入（水・缶詰・生活資材等）により岩手、宮城、福島各県の各県対策本部への搬送が完了しました。3月30日時点の農水省調査では、被災各県で乗揚げ、流出・漂流・沈没等の被災漁船は、判明分だけで6,365隻、漁港は156港が被災し、特に岩手・宮城・福島3県では全域で壊滅状態となり、今なお詳細が不明な部分も有る状況です。この緊急事態に対し、3月23日には JF 全漁連の服部会長や大日本水産会の白須会長が農水省の鹿野農林水産大臣と田名部大臣政務官を訪問し、「国による水産業・漁村の復興計画を早急に策定し、実現のため従来の枠にとらわれないあらゆる政策を緊急に総動員し、一日も早い復興を図りたい」との緊急要請を行い、鹿野農林水産大臣からは「実態把握し緊急に対策を講じ、希望の持てる漁業の再生に尽力する」と決意が語られました。

また JF グループによる「被災地復興のための義援金」は、“がんばれ漁業募金”として全国漁協系統で展開中であり、本県でも静岡県漁連を窓口として5月10日まで募金活動を実施することを既にご案内しましたが、今後 被災地の漁業関係者支援に向け、漁協関係者が一致協力して同胞の支援の輪に加わって頂けますよう、ご理解とご協力をお願い致します。

なお 静岡県漁連では、お問合わせ全般窓口として「指導部漁業振興課」、また募金については「総務課」に一元化し対応し、当面 JF 全漁連の動きに連動し静岡県漁業サイドとして対応することとしています。

2. 海の若人10名が明日に向かい卒業

—県立漁業高等学園—

県立漁業高等学園では、3月11日平成22年度（第41期生）卒業式を執り行い、本県漁業の将来を担う海の若人10名（航海科4名・機関科6名）が巣立ちました。

式典では、卒業生全員に卒業証書が授与され、渥美園長の式辞に続き、来賓の県議並びに橋ヶ谷同学園後援会長よりそれぞれ祝辞が述べられました。引き続き卒業生を代表して、浅野目植くんが「強さとたくましさだけでなく、しなやかで優しい心の海の男となる事を誓い

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

ます。県内さまざまな漁業の担い手として旅立ちます。」と力強く答辞を述べ閉会しました。

なお、卒業生全員は、次のとおり各々県内の漁船や沿岸漁業への就職が決定しています。
 ▽遠洋かつおまぐろ：4名 ▽棒受け網・さばすくい網：2名、▽大中型まき網：1名
 ▽キンメはえ縄：1名、▽船曳網：1名、▽定置網：1名

3. 県下沿海地区漁協 役員改選のお知らせ

3月に総（代）会を開催した沿海地区漁協のうち、任期満了等による役員改選を行った漁協の組合長が次のとおり決まりましたので、お知らせします。

漁協名	代表理事組合長名	漁協名	代表理事組合長名
内 浦	大沼富久 氏（再）	静 浦	大木幸也 氏（再）
我入道	川口吉彦 氏（新）	御前崎	藪田国之 氏（新）
浜 名	吉村理利 氏（再）		

4. 本会 人事異動のお知らせ

本会では次のとおり職員の人事異動を発令しました。（カッコ内は旧役職）

●異 動 3月1日付 ▽理事・指導担当参事 安藤徳一郎（指導部長）▽理事・業務担当参事兼購買部長兼販売部長兼資材課長 宮崎直樹（購買部長兼販売部長兼資材課長）▽指導部参与兼指導部長 村松高明（指導担当参事）

●異 動 4月1日付 ▽理事・業務担当参事兼購買部長 宮崎直樹（理事・業務担当参事兼購買部長兼販売部長兼資材課長）▽総務部長心得 鈴木 博（指導部長代理兼漁業振興課長兼協同組合課）▽販売部長心得兼販売課長 渡辺克己（焼津事業所長）▽漁業振興課長兼協同組合課 池ヶ谷 渉（経理課長）▽石油課長兼資材課長 高木基良（石油課長心得）▽経理課長 岩ヶ谷寿保（協同組合課長兼漁業振興課）▽協同組合課長兼漁業振興課 青山一弘（販売課長）▽焼津事業所長 上嶋永昭（経理課長代理）▽総務課長代理 平尾敬義（総務部付）▽販売課長代理 牛島秀和（静岡事業所主任兼所長事務取扱）▽あさり出荷センター所長心得 藤澤俊也（あさり出荷センター主任兼所長事務取扱）▽漁業振興課主任兼協同組合課 高橋賢樹（清水給油所主任）▽静岡事業所主任兼所長事務取扱 村松 豊（静岡事業所主任）▽協同組合課主任兼漁業振興課 五十風 純（協同組合課担当主任兼漁業振興課）▽漁業振興課担当主任兼協同組合課 川口照恵（協同組合課担当主任兼漁業振興課）▽あさり出荷センター二枚貝担当主任 鈴木秀幸（あさり出荷センター）▽協同組合課兼漁業振興課 鈴木健介（漁業振興課兼協同組合課）▽焼津事業所 塚原善樹（総務課）▽総務課 大石恵子（県漁業振興基金出向）▽経理課 関原佑梨（総務課）▽指導部＜囑託＞ 村松高明（指導部参与兼指導部長）▽清水給油所＜囑託＞ 松永 修（焼津事業所）

◇新規採用 4月1日付 ▽指導部参与兼指導部長＜囑託＞ 安井 港 ▽静岡事業所 飯塚直之 ▽あさり出荷センター 杉山浩隆

◇退 職 3月31日付 ▽岩科光春（沼津港湾事務所）▽杉山幸雄（清水給油所＜囑託＞）

◇再 雇 用 4月 1日付 ▽沼津港湾事務所＜囑託＞ 岩科光春

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう